



デフパペットシアター ひとみこえ

〒211-0035 川崎市中原区井田 3-10-31
公益財団法人 現代人形劇センター内
TEL : 044-777-2228 FAX : 044-777-3570
e-mail : deaf@puppet.or.jp
URL : http://deaf.puppet.or.jp/
Twitter DEAF_PUPPET
Facebook 「デフ・パペットシアター・ひとみ」

デフパペ 春模様 公演準備 着々と

迫る「河の童」川崎市公演

4月29日(木・祝)に神奈川県川崎市のアルテリオ小劇場(麻生区万福寺6・7・1川崎市アートセンター)にて「河の童」かわのわっぱ」を上演します。本公演は、地域主体の芸術イベント「川崎・しんゆり芸術祭(通称:アルテリオカしんゆり)」の一環。デフ・パペも人形劇で地元を盛り上げます!

公演日時

4月29日(木・祝)開演14:00(開場13:30)

※公演終了後アフタートーク有り

詳細は川崎市アートセンターのHPよりご確認ください。

<https://kawasaki-c.jp/th/theater/detail.php?id=000404>

お問合せ

川崎市アートセンター 044・9555・0107

しんゆり芸術祭2021実行委員会 044・952・5024



GWはとらまる座へ!

今年のゴールデンウィークには香川県東かがわ市の人形劇場とらまる座にて『一寸法師』とおたのしみ交流会』を連日上演します。ひざしぶりの四国公演にメンバーの気合もひとしお。お近くの方はぜひ一寸法師に会いに来てくださいね!

公演日時

5月2日(日)／3日(月・祝)／4日(火・祝)／5日(水・祝)

各回開演13:30(開場13:10)

近況、あれやこれや

2021年はじめの四半期は公演やワークショップ、その他にも様々な刺激を得られる機会に恵まれました。まだまだコロナ禍以前のようにはいきませんが、新たな風の訪れを感じられる3か月間でした。

2月には「河の童」を栃木県大田原市で上演。また、地元中原区で公演する機会も設けることができました。前回上演から約一年ぶりとなる「河の童」はキャストを一部変更し、新たな気持ちで準備を進めました。これまでに二回、三回と繰り返し観劇されたお客さまからも「観るたびに新たな発見がある」「新鮮な気持ちで観ることができた」とのお言葉をいただきました。

3月に入ると、東京都内の小学校で「一寸法師」を上演。感染症対策のため、恒例の「お楽しみ交流会」は役者への質問タイムに変更して実施しました。

また、やなせけいこの出演したひとみ座「鬼のちそう」も終演。まるごと鬼のテーマパークと化したひとみ座での連続公演は大盛況で幕を閉じました。

ワークショップについても、少人数やオンラインに切り替えるなどの方法を探りながら、多数実施しました。

コロナ対策をした上での少人数のワークショップは、『デフパペ体験WS』を2日間、そして、昨

年コロナの前にラオスで体験したことをお伝えする「ラオスWS」を地域の方に向けて実施しました。また、東京狛江市「ふれあいこどもまつり」には「音のワークショップ」で参加しました。その他、高校生に向けて「OΔO」を使ったWSや、榎本の講演会を実施したりもしました。

オンラインでは、ZOOMで横浜ろう学校の5年生と「ラオスWS」をやったり、人形や楽器をお家で作れるキットを参加者に送付して、オンラインで一緒に作るWSなども実施。

コロナ下で出来ることを試行錯誤しながらですが、参加された方の反応を見ると、子どもや大人も、表現する機会をととても求めていると感じました。

加えて、昨年11月、今年の1月、3月と3回にわたり、デフ・パペのOBである大杉豊筑波技術大学教授を講師としてお招きし、デフメンバーに向けたワークショップを実施していただきました。後半の2回はオンラインでの開催となりましたが、人形の遣い方からろう者の音楽、図を用いて考えを整理しそれを伝達する方法など、幅広い内容について考えを深めました。(裏面「3か月に一度のこころは」につづく)



色々な「図解」を比較・分析する劇団代表・榎本

3ヶ月に一度のこんには

榎本トオル

大杉さんのワークシヨップ(表面「近況、あれやこれや」参照)を受講して、感じたこと、体験したことたくさんありましたが、これを全部書くと長くなるので、これから参考になることをまとめてみました。

1 (音楽)

デフパペにふさわしい音とは何だろうか? 聴者とうろろ者にも楽しめる音楽をやってきました。ろろ者は楽器が見える生演奏、目で感じたり体に響く音楽。聴者は聴く音で音楽をつくりました。それで良かっただろうか? ろろの音楽を考えるときに、どんな音楽なら人形劇を聴者も共有して楽しめるか? これからの新作の音楽を考えられる新鮮なワークシヨップでした。

2 (図解)

たとえば『デフパペってなに?』……「役者(ろろ者+聴者)・人形劇 観客」とあらわせる。公演をつくるときには実行委員会組織のイメージを図にしたり。作品をつくるときにも、誰に何を、どういう人形劇を観せたいか? 台本を観察してマインドマップを並べ、それをもとに

- ① 図で解(ときあかす)
 - ② 図で解(ほぐ)しだす
 - ③ 図で解(わか)りあう※
- と図解しながら作品をつくると、より面白くなるだろう!? とヒントになりました。

とても重要なワークシヨップでした。また大杉さんのワークシヨップを色々なテーマで受けたいです。

お知らせ

2019年より役者として活躍した加藤埜明が、このたびデフ・パペットシアター・ひとみから「人形劇団ひとみ座」に異動することとなりました。

「あいさつ」

加藤埜明

私、加藤埜明は3月を持ちまして『デフ・パペットシアター・ひとみ』から「人形劇団ひとみ座」に所属を移すことになりました。た。

まだ何もわからなかった私に、デフパペの先輩方や旅先で会った実行委員会の皆様はたくさんのお話を教えていただきました。手話のこと、人形劇のこと、地元のこと……そのどれもが初めて知ることばかりで、私の中の世界がどんどん広がっていくのを感じました。

公演によってポスターやパンフレットが違ったり、反応ももちろん違って。

その公演ならではの物販があったり、公演の後に地元の美味しいものを食べたり。

手話にも方言があるのだとデフパペに入ってから初めて知りました。(最初に覚えた方言は北海道の『なまらうまい!』でした)

河の童、はこ、稲むらの火……どれも深い話で、私の中の人形劇のイメージを変えてくれました。

デフパペからひとみ座には移りますが、デフパペとの繋がりは持ち続けますので今後もよろしくお願いいたします。



池内剛志



日頃から人形劇を通して生の体験の大切さを説いている僕たちにとって、「リモート○○○」の時代は高藤の時代でもあります。というとは何か信念を語っているみたいで恰好いいですね。

実をいうと僕の場合、信念をカサに着て苦手分野に見えぬ振りをしてきた、という側面もあったかもしれません。いざそれが必要になってみると、ZoomもSkypeもまったく使いこなせない……!! かくして、「コロナ禍においてようやく自分の機械音痴と向き合うこととなったのです。」

とはいっても、ウィズコロナの世界に入門してからはや1年。さすがの僕も機械との付き合い方の基本的なところには慣れました。

大変なのは、突発的な不具合が起きたときです。そんなときは、医者が患者の病因を調べるようにひとつひとつの要素を風潰しにチェックしなければいけません。そしてスピーカーが風邪を引いていけば交換してやり、電波の機嫌が悪ければポカポカ陽気の窓際までワイファイ受信機を連れていくのです。「アルミホイルで電波環境が改善する」という民間療法も試します。

SF映画で夢見た未来。サイバー空間で華麗に立ち回る自分……いやいや現実には甘くない。付け焼刃の知識を身に着けたところで、アナログ人間はアナログ人間。そんなことは始めから百も承知のはず。しかしもう後には引けません。なまじ苦手を意識してしまっただけ最後、「これ以上世間に置いていかれるのもマズい!」という焦りも芽生えてきて……。

おしらせ掲示板

ご支援のお願い

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、デフ・パペットシアター・ひとみの昨年度の上演の多くが延期または中止となり、また、依然として先行きの見えない状況が続いています。

今後の継続的な劇団活動のため、みなさまのご支援を賜りたく存じます。ご支援方法についての詳細は、デフ・パペットの企画運営を行う（公財）現代人形劇センターのホームページをご参照ください。

今後の公演・ワークショップ情報

※新型コロナウイルスの感染拡大状況などに応じて、予定が変更になる場合がございます。最新の情報はデフ・パペのホームページよりご確認ください。

おもな公演・ワークショップ

「河の童」

- ・4月29日 川崎市（神奈川県）
- ・6月12日 江戸川区（東京都）
- ・7月下旬 九州・四国ツアー
- ・9月23日 佐倉市（千葉県）

「一寸法師」

- ・5月2～5日 東かがわ市（香川県）

「稲むらの火」

- ・11月6日 和歌山市（和歌山県 国民文化祭）

SLOW CIRCUS PROJECT

「T∞KY∞～虫のいい話～」(榎本出演)

- ・4月25/26日 豊島区（東京都）

3月 → **9月** に延期して実施します！！

カオニャオ(ラオス)×デフ・パペットシアター・ひとみ(日本)

ろう者の参加する人形劇団による 共同ワークショップ Part2 in 日本

2019年からスタートしたプロジェクトです。
自然の素材などのオブジェと身体により、表現の可能性を探ります。

スケジュール

- ・9月6日(月)～17日(金)
共同ワークショップ／ひとみ座スタジオ
- ・9月18日(土)
成果発表会／川崎市国際交流センター(一般公開)

☆速報☆

2022年3月 神奈川芸術劇場にて
「新作人形劇」 上演します。

デフパペの新たな挑戦、目下もくもく進行中……。

乞うご期待！！

メール配信のご案内

デフ・パペットシアター・ひとみでは自然環境保護の観点から、紙媒体によるデフニュースの発行部数を削減するとともに、メールを通じた情報発信を推進してゆきます。
メールでのデフニュース・その他公演情報の受信が可能な方は、お手数ですが

- ①アドレス deaf_hp@puppet.or.jp までメール
- ②ホームページのお問い合わせフォーム

のいずれかの方法にて

- ・氏名
- ・ご住所
- ・デフニュースメール配信希望の旨

を本文にご記載のうえ、お知らせください。

動画も配信中

Youtubeにて、デフパペの過去公演作品やその他ちょっとしたコンテンツを配信しています。ステイホーム中もおうちでデフパペの人形劇をお楽しみください！



◆役者募集中！◆

【仕事の概要】

全国での人形劇の公演・ワークショップなど

【条件等】

- ・ろう者、聴者は問いません
- ・手話でお話するのが好きな方
もしくは手話に興味のある方
- ・年齢・入団日は応相談 詳しくはデフ・パペのHPにて！



★デフパペ友の会★

デフ・パペットシアター・ひとみでは様々な特典のある【友の会】を募集しています。

- ・年会費
- 個人会員 1500円
- ペア会員 2500円

・特典

デフパペ公演割引
グッズお買いものチケット
デフパペニュースお届け
オリジナルお誕生日カード